

■ 薬 剤 科

2007年度報告

2006年度に掲げた「個人の能力を上げる」という目標は、各自積極的な研修会への参加、発表を行うことにより着実に上がっていると考えられます。薬剤管理指導業務に関しては、昨年より1名減という状況の中で昨年度と同程度の指導件数を維持することができました。要因としては、昨年末にTQM発表会で発表した「簡易懸濁法」が考えられます。各部署の協力のもと「簡易懸濁法」を行うことにより、調剤時間の短縮が可能となり、その分を指導業務の時間に回す事ができたためだと考えられます。

業務実績報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
服薬指導件数	390	357	403	395	363	359	381	426	391	350	398	423
混注業務	142	65	86	88	78	128	106	144	201	121	54	54

院外研修参加報告

- 2006/05/14 第53回 北海道薬学大会 演者 高山
06/16 第15回 病院薬学セミナー
08/09 医療薬学セミナー
08/24 薬剤師臨床セミナー
08/30 第1回 注射調剤研究会
09/06 第2回 注射調剤研究会
10/04 第3回 注射調剤研究会
10/16 研修会
10/19 薬剤師臨床セミナー
10/24 研修会
10/25 第4回 注射調剤研究会
10/26 第3回 札幌腎と薬剤研究会
11/16 薬剤師臨床セミナー
11/18 第4回 北海道感染症対策セミナー
11/22 札幌病院薬剤師会NSTセミナー
11/27 「日本腎と薬剤研究会」代表者会議
11/29 第5回 注射調剤研究会
12/02 第10回 札幌病院薬剤師会会員発表会 演者 高山
12/06 第6回 注射調剤研究会
12/07 薬剤師臨床セミナー
2007/02/07 研修会
03/07 薬剤師臨床セミナー
03/14 研修会
03/15 薬剤師臨床セミナー

今後の展望

院内においては、薬剤管理指導業務に力をいれて行きたいと考えています。特に安全管理においては薬剤が関る事も少なくないため、各部署と随時話し合いの機会を設け対策を講じて行きたいと考えています。また、電子カルテの導入が予定されていることから、現行のシステムからの移行をスムーズに行えるよう十分検討を行う必要もあります。院外の活動については昨年度と同様に5月、10月、12月に講演会、学会等での発表を予定しています。加えて、セミナー、研究会の主要となるメンバーもいることから、これらの活動を通じて病院のアピールを行うことを考えています。

文責 風間 正人